セミナー開催にあたって

関西自然保護機構理事長　千地万造

今日はわざわざ遠くからお集まり戴きまして有難うございました。この，京都大学の芦生演習林といいますのは，みなさん，よくご存知のとおり，近畿北部では，特に豊かな自然が残されておるところでありまして，学術的にも，また，学生実習や，教育の場としても，非常に重要な場所であります。ここでは，ご承知のように，揚水式のダム建設という問題ももち上っておりまして，京都大学の内部でもいろいろ問題になっておるところです。それからまた，日本生態学会でも，この問題は大きくとりあげられ，今，ご参考までにおくばりいたしましたような要望書も出されております。この問題はまた一方，この地域の人々の生活にもかかわるということもありまして，我々が自然保護を考えていくうえで，人と自然というもののかかわり方というか，あるいは自然保護のありかたというか，そういうものを考えるうえで，いろいろな重要な問題を提起してくれる場所でもあるわけです。という意味におきまして，関西自然保護機構では，今年度は，特にこの地域をとりあげて，我々が今後自然保護というものを考えていくうえで，いろいろ勉強してみたいと思います。

余談ですが，偶然にもこの博物館には友の会があり，毎年夏には二泊三日程度の巡験をしているのですが，たまたま，今年は芦生へ行ってまいりました。多くの参加者があり，都市生活をしている人々に，芦生の豊かな自然は大きな感銘を与え，深い関心をよび起しました。今日は講師の先生方，非常にお忙しい中を，やりくりをして御出席いただきました。それぞれご専門の立場からお話をいただきたいと思います。なお，11月３日４日の連休に，ＫＯＮＣとしましても，１泊２日でこの芦生へ見学に行こうと計画もしております。これは会員を主体とした行事でありますが，定員30名でございますので，余裕のあるかぎり，会員でない方も御参加いただけるようにしたいと思っております。できるかぎり多数御参加していただきますようお願いいたします。かんたんですが，ご挨拶にかえたいと思います。どうもありがとうございました。

芦生の人と自然

プログラム

1. あいさつ……関西自然保護機構理事長　千地　万造
2. 趣旨説明と問題提起……京都大学理学部　村上　興正
3. 芦生の地質について……京都教育大学　井本　伸廣
4. 芦生の植生について……京都大学理学部　村田　源
5. 芦生の動物について……京都大学農学部　渡辺　弘之
6. 演習林での私たちの生活……美山町なめこ組合　井栗　登
7. まとめの討論……

主催：関西自然保護機構

日時：1985年９月22日（日）10時30分～15時45分

場所：大阪市立自然史博物館